



## Human Centric Lighting Eューマンセントリックライティング 「Eューマンセントリックライティング」は照明の新しいテーマです。 生体機能に影響を与える自然光に似た照明を作る技術でもあり、 人間の生産性、快適性、ウェルビーイングの向上に役立ちます。











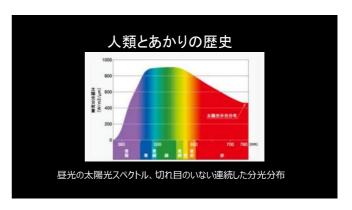


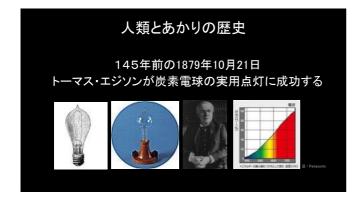


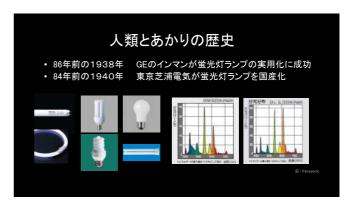


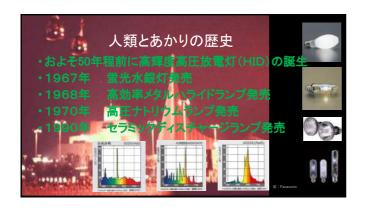




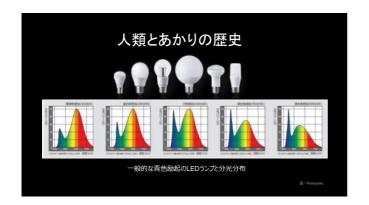












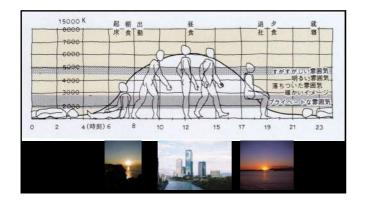
## 人類とあかりの歴史 ヒトとあかりの関係は太陽光が原点 原点回帰が必要 HCL Human Centric Lightingがこれからのテーマ

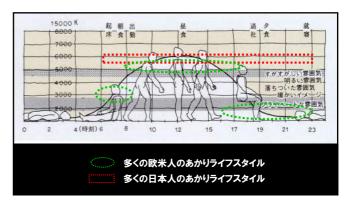


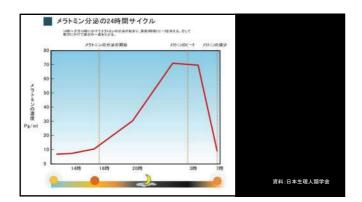
46 億年前に地球が誕生し、その後人類が誕生して以来、
人類は太陽光のもとで進化してきました。
一日のサイクルの中で、陽が増り注ぐ基に活動し、
夜は射闇の中で根る生活のリズムのもとで人間の DNA は進化してきました。
日中は陽の下で「セロトニン」ホルモンを分泌して活力を使し、
端い視には「メラトニン」ホルモンを分泌して高声をしています。
実際に、日中、日光にさらされながら分泌されたセロトニンホルモンが多いほど、
夜にメラトニン分泌が活性化されるため、
「日光」は観慮なパイオリズムを作る必須要素です。

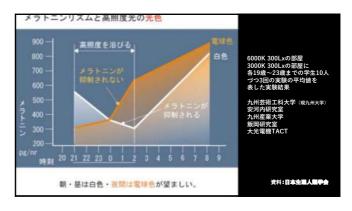


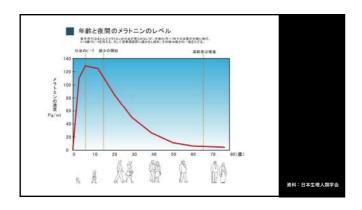


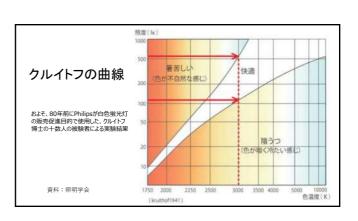




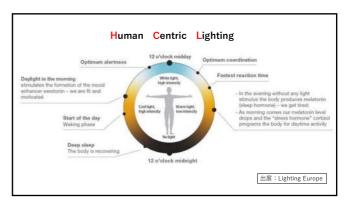


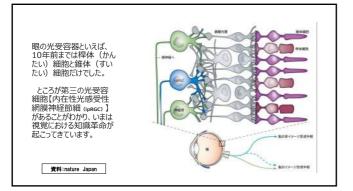








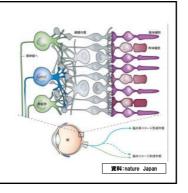






#### 光をとらえる細胞層

眼に入った光は、神経節細胞層や網膜内層の細胞を通り抜けて、主要な光受容細胞(桿体(かんたい)細胞と錐体細胞)に到達します。これらの細胞が視覚情報を神経節細胞に送り返すと、神経節細胞はそれを脳の視覚中枢や視覚以外の中枢へと伝えます。内在性光感受性細膜神経節細胞(ipRGC)と呼ばれる一群の神経節細胞は、光感受性色素であるメラノブシと含んであり、光に関する情報を、直接符号化して伝達することもできます。



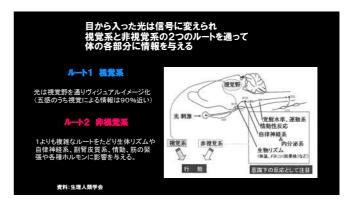
当初これらの細胞は視覚には関与しておらず、代謝や行動の24時間周期を設定する概日時計を、昼夜の光量変化に同期はさせい。るだけだと考えられていました。ところが最近の研究で、ipRGCの働きはそれだいでないことが示唆されています。ipRGCは、図形パターンの識別やまふしその調整(輝度変化への対応)といった 視覚にもかかわっている可能性があり、また、周囲の光が学習や記憶などの認知過程に影響を及ぼず現象にも関係しているともいかれています。

現在は、ipRGCと桿体(かんたい)細胞が補い合って、広範な輝度のレベルに眼や脳が対応できるよう協力しているとうり、たって、全種類の光受容細胞が、こうした特殊な方式で仕事を分担している理由は、研究過程でよくわかっていません。例えば、ipRGCの青色光に対する感受性のおかげで、夜明けや夕暮れの話がを祭知するのに、より適するようになっている可能性もあると言われています。





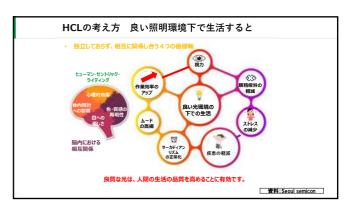






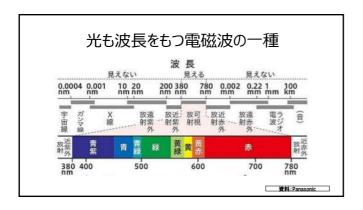


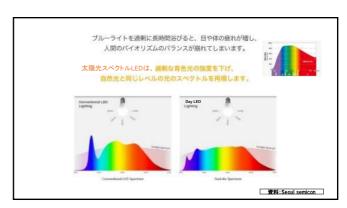


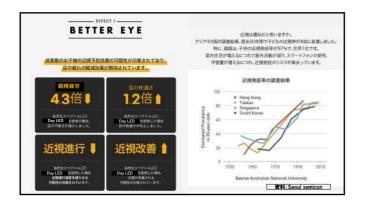


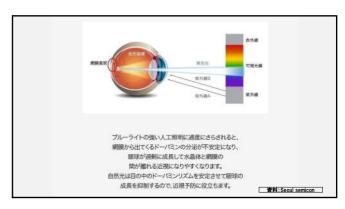


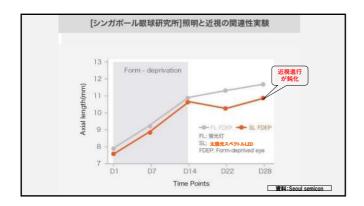
太陽光スペクトルを持つ LED光源の各種エビデンスのご紹介



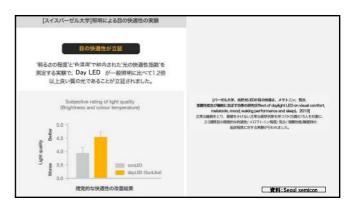




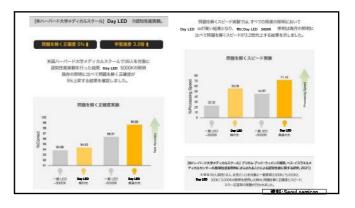










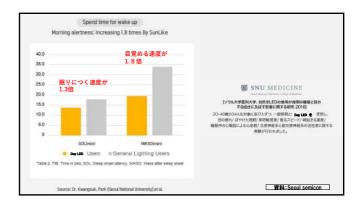


[ソウル大学医学部、朝の覚醒度実験]
寝る速度 1.3倍速くなる

国党める速度 1.8倍速くなる

睡眠中の心電図による心拍数/ 交感神経系と副交感神経系の
活性度など様々な媒介変数を計算した結果、

Day LED 照明を使用する時、夜の寝る速度 1.3倍、
朝の目覚める速度が 1.8倍速くなる結果となりました。



[スイス・バーゼル大学、日中における覚醒度の実験]

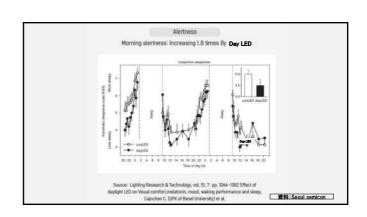
ロ中の覚醒度が高い

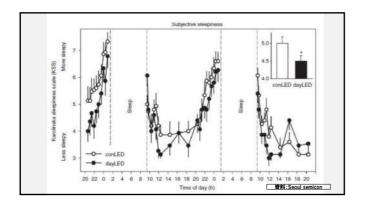
カロリンスカ眼気尺度を測定した結果、Day LED 照明条件では
午前11時から午後了時までの間に、従来の照明条件に比べて
眠気が有意に減少し、日中の覚醒度が高くなることがわかりました。

Vine elikty 自然以上日からの機能、メラトニン系が、
変数は取り機能・メラトニン系が、
変数は取り機能・メラトニン系が、
変数は取り機能・メラトニン系が、
変数は取り機能・メラトニン系が、
変数が行われました。

変数が行われました。

(資料: Seoul semicon







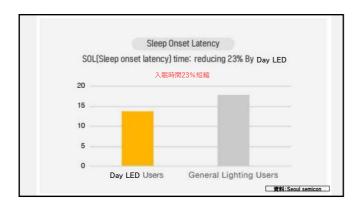
自然光スペクトル再現技術、Dey LED は昼のセロトニン分泌を活性化して覚醒状態を維持し、夜の睡眠効果にも有効なメラトニン分泌を活性化して熟睡に効果があります。
熟睡によって集中力と注意力の向上、寝ている間に活性化される免疫機能を高める 様々なメリットが期待できます。

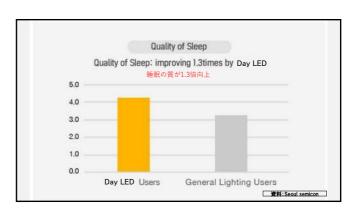
SNU MEDICINE

SNU MEDICINE

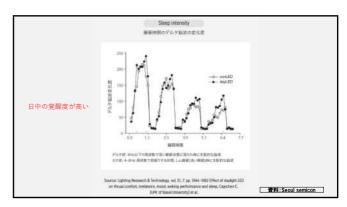
Long of White Discourse Calculus of White Discourse Calculu





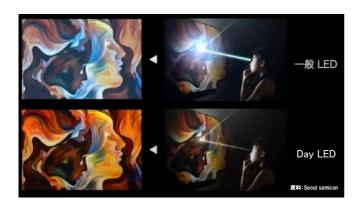


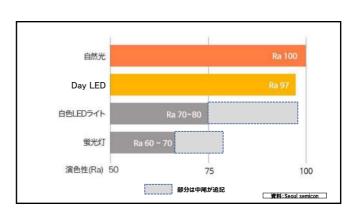




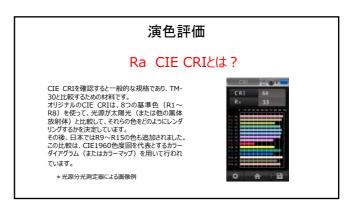


太陽光の下で物を見るときとは異なり、室内用LED照明の青い光は 乱反射を起こし、本来の色とは異なる色に見えます。 Day LED の色再現性を示す演色評価数(CRI)は、太陽光の指数(CRI100)と ほぼ同じCRI 97で、人工照明下でも自然な色表現が可能です。 また、Day LED のブルーライトレベルは太陽光と 同等に低く抑えられているため、文字がくっきりと見え、 まぶしさや目の疲れを軽減します。



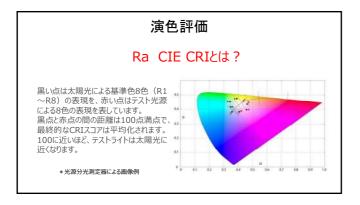




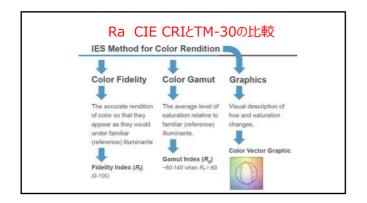






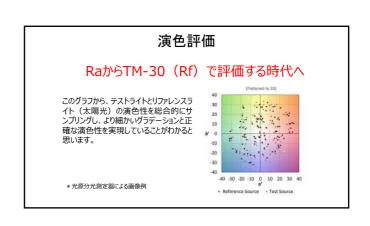




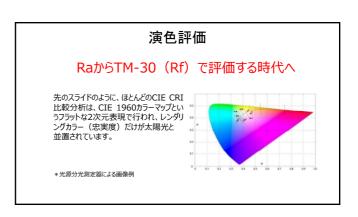


#### 

# 演色評価 RaからTM-30 (Rf) で評価する時代へ CIE CRI8色の原型は、衣料や建築用 途に使われるパステルカラーです。 TM-30では99色のリファレンスカラーを使 用し、より実用的な色彩を豊富に取り揃えています。 これらの色は、実世界に存在する膨大なデータベースから選ばれたものです。







#### 演色評価

#### RaからTM-30 (Rf) で評価する時代へ

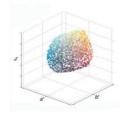
最近のCRIシステムでは、色の知覚と識別は、アルバート・H・マンセルの3次元図が示すように、特に 明度や影度といった他の次元が関与しており、より複雑であることが認識されています。



#### 演色評価

#### RaからTM-30 (Rf) で評価する時代へ

この新しい色彩感覚を利用して、CAM02-UCS は3次元の色空間で表示されることになります。マンセル図の3次元 (色相、明度、彩度)と同じようなものです。 人間の知覚に基づく色の識別方法が向しすることは、より正確な演色情報を意味します。

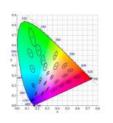


#### 演色評価

#### RaからTM-30 (Rf) で評価する時代へ

CAM02-USCは、色の均一性に影響を与える 歪みも緩和します。 歪みの例として、CIE1931 のカラーマップ(MacAdamの楕円で表示)を 見るとその結果、楕円の任意の点内の色は区別 がつかず、色空間の領域が歪むことがわかりました。 楕円が長くなるほど、図の形は歪みます。

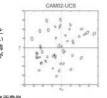
\*光源分光測定器による画像例



#### 演色評価

#### RaからTM-30 (Rf) で評価する時代へ

CAM02-USCはCIELABと 比べても歪みが緩和されてい ます。つまり、より円形の楕 円が多く、歪みも少ないのが わかります。





\*光源分光測定器による画像例 "(definer Colour Spenses Stated on CIECANO2 Colour Appearance Model", Luc et al. CRA 3500

#### 演色評価

#### RaからTM-30 (Rf) で評価する時代へ

TM-30は、IES(Illuminating Engineering Society)が発行している演色評価数システムです。演色評価数とは、ある光を物体に当てたとき、その物体の色をどれだけ正確に再現できるかを示すものです(黒体放射体(太陽など)と比較して)。TM-30は、先行するCRIシステム(CIE CRI、GAI、CQS)に続くもので、それぞれが以前の設計を改良することを意図しています。

#### 演色評価

#### RaからTM-30 (Rf) で評価する時代へ

Rfの 指標は、CIE CRI「CRI」値と同様で、 99個のテストサンブルのテスト光と太陽光の色 の忠実度の格差の平り値です。その違いを 100点満点で判定し、数値が高いほど太陽光 に近い色を出すことができるテストライトであるこ とを示しています。 右図はTM-30のメトリックスとカラーペクター図、 日本は各様で、は乗りるフェルトリックを図。

右図はTM-30のメトリックスとカラーベクター図図は過飽和(黄緑&マゼンタ)と過少飽和(オレンジ&緑青)を示しています。

\* 光源分光測定器による画像例



#### 演色評価

#### RaからTM-30 (Rf) で評価する時代へ

Rgは、人間が色を認識する上で重要なもう一つの要素である「彩度」 化表す指標です。また、試験光と太陽光の格差の平均値でもあります。 基準値(100点)をもたに、点数が高い(100~140点) ほど飽和度が高く(平均的)こ)、それ以外(60~100点) ほど飽和度が低いことを示しています。



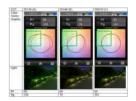


#### 演色評価

#### RaからTM-30 (Rf) で評価する時代へ

カラーベクトルグラフ - Rg指標は、全体の彩度過不足を反映する数値ですが、どの色領域に問題があるのかを示すものではありません。 TM-30では、全空間上に円形のベクトルグラフを重ね合わせ、彩度異常の発生箇所を表現するエトホーである地側、は、 を基格目が、系度共和が先工国内で表現 することで、これを改善した。 なお、CAM02-USC色空間は3次元空間ですが、彩度次元のシフトを表示するために「平坦 化」されています。

\* 光源分光測定器による画像例



#### 演色評価

#### RaからTM-30 (Rf) で評価する時代へ

Rf-Rgプロットグラフ - RfとRgを単純にプロットしたグラフで、ライトのレンダリング品質を全体的に視覚的に表現します。ライトを比較する際に、とても便利なビジュアルツールです。



\*光源分光測定器による画像例

#### 演色評価

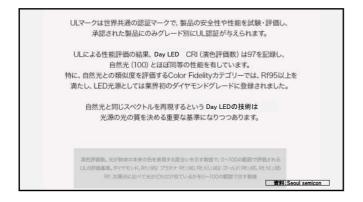
#### RaからTM-30 (Rf) で評価する時代へ

CIE CRIは現在でも確立された演色評価基準ですが、その欠陥はよく知られており、近年では新しいプロトコルTM-3のがその地位を脅かしています。
TM-3のは、市場での検証を大きく進めました。
TM-3のについては、すでにかなりの話題と議論があり、その優位性は疑う余地がありません。
2018年、IESはTM-30-15をTM-30-15に
バーションアップし、CIEのより新しいColor Fideltyの変更(CIE 224: 2017)を採用、グローバルミュニティでの受容に向けて大きく動き出しています。



### 演色評価 RaからTM-30 (Rf) で評価する時代へ たった、18色のカラーサンプルで、評価するより、99色のカラーサンプルで評価するほうが、精度が高いのは明白。







Day LEDはどのような場所で使用すればいいか?

#### Day LEDを使いこなすために

Day LEDは、デスクライトから居住空間、病院、老健施設、学校、商業施設、公共施設、美術館などの照明まで、様々な空間に使用することができる。



















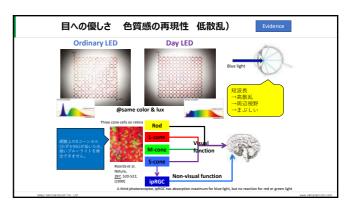


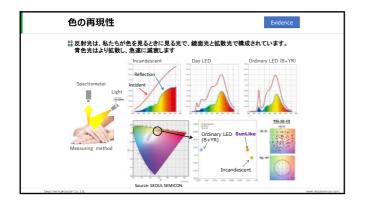


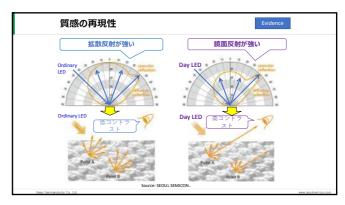


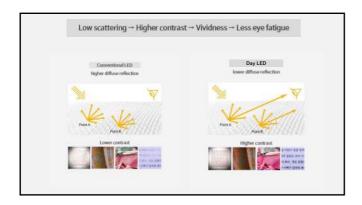




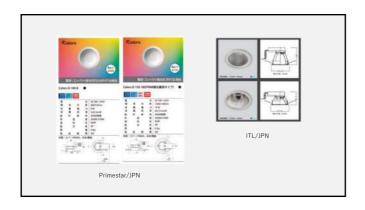




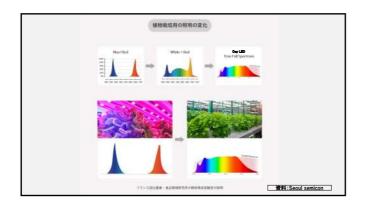








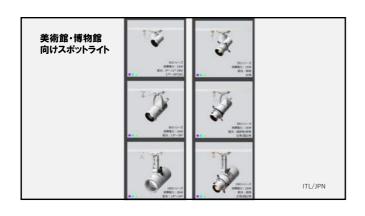




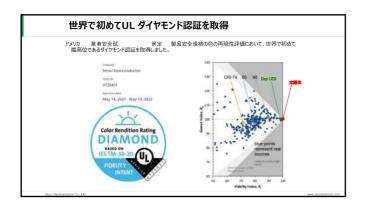








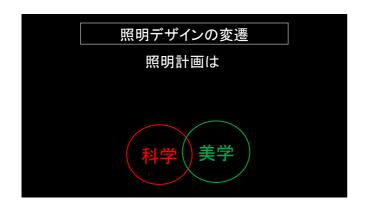


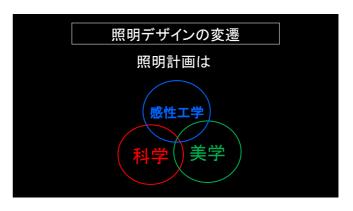








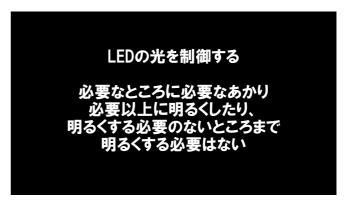
















#### 「適材適照」

光源・照明器具の特性を活かして <mark>H</mark>uman **C**entric Lighting

LED光源だからできる、調光調色を使わない手はない あかりの原点、太陽光スペクトルのLED光源を活かすことがベスト 特定非営利活動法人 ふくてっく 学習会 人の心に寄り添うあかりを求めて Human Centric Lighting N's PORT 代表 中尾晋也